



日本共産党 金子 卓 議員

放射線測定器の貸出し開始

農産物などの放射性物質検査も始まりました

詳しくは、市のホームページ、12月12日付発行の 広報 常陸大宮「おしらせ版」をごらんください。

民主大宮

NO. 122
2011年12月
日本共産党大宮支部
電話 (52) 2422
FAX (52) 2471
メールアドレス
kaneko-s@jcp-net.jp

市民のみなさんが身近な場所の放射線量を測定することができるよう、市所有の放射線測定器を無料で貸し出すことになりました。

9月議会での日本共産党の堀江議員の一般質問での要求、また、金子・堀江両議員の市長への要請（8月と11月の2回）が実現しました。

放射線測定器の貸出し時間は、午前9時から正午までと午後1時から4時まで。前日までに、市役所市民課に予約してください。

市役所まで借りに行けない人に職員の訪問測定を実施して欲しいとの声が寄せられています。（今度の議会を取りあげます）

同じく、市内でとれた米や野菜・果実などの農産物、魚類、土壌などの放射性物質検査も実施されます。

大宮地域の検査日は毎週木曜日です。前日の正午までに市役所農林課に申し込んでください。先着順です。

検査するものは、1キログラムの量をできるだけ細かくして、検査当日の午前8時30分から9時までに申込み窓口に提出します。

<場所> 岩崎272-4(金子議員自宅)

	地上高1m	地上高5cm
○居室内居間	0.083μSv/h	0.082μSv/h
○敷地内樹木下	0.133μSv/h	0.152μSv/h
○敷地内駐車場	0.124μSv/h	0.130μSv/h

12月6日測定
単位:マイクロシーベルト/時間

日本共産党の金子卓議員は12月6日、放射線測定器を借りて試験的に自宅の空間放射線量ををはかってみました。地上高1メートルと5センチメートルのところに測定器を置けるような測定台(写真)をつくりました。その測定結果は左表のとおりです。誰でも簡単にはかれますので、試してほしいでしょうか。



貸出しの測定器は2種類。写真は堀場製(7×12cm, 200g)

□ 金子 卓 議員の一般質問項目

- 震災被災者支援について
 - 被災住宅の修繕費助成
 - 住宅リフォーム資金補助制度の状況
 - 社会資本整備総合交付金の活用
 - 住宅リフォーム資金補助制度の対象の拡大
 - 確定申告時の「雑損控除」
 - 太田税務署の申告相談会の結果
 - 「雑損控除」の周知徹底と相談業務の実施
 - 震災(特に原発災害)対策と総合計画後期基本計画
- 介護保険と国民健康保険について
 - 第5期介護保険事業計画
 - 介護保険料
 - 介護予防・日常生活支援総合事業
 - 国民健康保険税率
 - 来年度の国民健康保険税率
- 福祉タクシー事業について
 - 規則の解釈と利用範囲運用の問題
- 久慈川の築堤について
- 「道の駅」構想について



☆金子すぐる議員のホームページ
<http://www.jcp-net.jp/kaneko-s/> ご覧ください

ブログ はじめました
「金子すぐるのブログ」で検索してください

日本共産党の金子卓、堀江鶴治の両議員は11月22日、市長と懇談して「震災復旧、被災者支援等に関する要請書(第11次)」を提出し、その回答を聞きまし。今回は、市民の強い要求である事項について、事前に要請書を出し、回答を聞くという形をとりました。政策審議監が同席しました。要請項目は次の通りです。

- 市の放射線測定器の市民への貸出し、また、測定を希望する方に応じる対応。
- 発注している放射性物質測定器の運用方法と市民への早い周知。
- 学校給食食材の放射能検査の実施。
- 震災で被害を受けた方の「雑損控除」の相談窓口と市民への周知。

新しい視点 展望しめす

しんぶん 赤旗

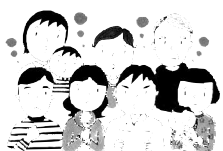
日刊紙●月3,400円
日曜版●月 800円

日本共産党のホームページをご覧ください

日本共産党 検索

今議会は10人が一般質問をおこないます(15日5人、16日5人)。
■日本共産党の堀江鶴治議員は同じく16日(金)の5番目です
放射能汚染から住民や子どもたちを守る取組み(きめ細やかな測定、職員が訪問しての測定、学校給食食材の検査、専門部署の設置など)についての質問は、堀江議員が分担しておこないます。ぜひ傍聴をお願いします。

日本共産党・金子卓議員の一般質問は12月16日(金)の4番目(午後)です



被災者支援

申請を待つのではなく 積極的支援行政を

日本共産党の金子卓議員は第3回定例議会(9月議会)の一般質問で、大震災の被災者を十分に把握し、国・県の災害支援制度、市の災害支援制度、税金・料金などの減免等々、

被災者の申請待ちでなく、市行政として積極的な総合的な支援を求めました。金子議員は、各種の支援制度の対象者数と支援をおこなった人数を具体的に質問しました。この質問には、保健福祉部長と市民部長が答えました。金子議員は、まだ支援がこなされていない方に、市行政としてこれからどのように対応

支援制度名	対象者数	支給者数・申請者数	(割合)
被災者生活再建支援金 全壊 大規模半壊 解体が必要な半壊	10件 8件 不明 (解体の判断がある)	10件 5件 2件	100% 62.5% -
災害見舞金(県・半壊)	不明 (解体の判断がある)	41件	-
市独自の見舞金 全壊 大規模半壊 半壊 一部損壊	10件 8件 65件 不明 (20万円という制限がある)	10件 8件 64件 1,383件	100% 100% 98.5% -
市民税	92名	91名	98.9%
固定資産税	222名	109名	49.1%
国民健康保険税	45名	42名	93.3%
介護保険料	87名	87名	100%
後期高齢者医療保険料	54名	54名	100%

するのかが再質問をし、常陸太田市では「震災証明書」といっしよに申請書を同封するなど丁寧な対応をしているとの例を示し、申請待ちでなく積極的な支援をおこなっていただきたいと市長に答弁を求めました。市長は、申請主義は崩さないが、常陸太田市の例はまったくその通りなので、市民に対して配慮した行政をしていきたいと答えました。

確定申告時の 雑損控除の周知を

金子議員は、震災で被害を受けた方の所得税・住民税を軽減するための「雑損控除」の周知を丁寧におこなうよう求めました。

金子議員は、6月に本庁と各総合支所で実施された太田税務署の相談会には、合計で315人が訪れたが、多くの方は相談だけだったことを示し、「雑損控除」の周知徹底をどのようにするのか質問しました。市民部長は「随時、税務徴収課で相談を受けている」と答えました。金子議員は「来年の申告時に窓口が混乱することがないように、申告する市民のためにも、申告を受ける担当職員のためにも、スムーズな申告が

震災直後の避難者対応

地震直後に、当市のパークアルカディア・ケビン村ケビンに3月17日いわき市小名浜から4人、3月18日に同じく8人、花立自然公園の簡易宿泊施設に3月18日小名浜から6人、青少年旅行村宿泊施設に3月18日いわき市鹿島町から4人、同日いわき市四倉町から8人、やすらぎの里簡易宿泊所に双葉郡富岡町から9人の方々が避難していたことがわかりました。

金子議員は、これらは市の施設だから把握できたのだと思います。ほかに震災直後、当市に避難してきたが把握されていないかた方はいるのだと思います。市が、避難者受け入れを5千人とか千5百人とか言っている時に、これら把握されるべき方々などのような対応をしたのか質問しました。市民部長は、パークアルカディア等の施設に避難した方は、自主避難という考えで料金を取っていると答えましたが、金子議員は、今からでも料金は返すべきだと要請しました。

金子議員は、震災で被害を受けた方の所得税・住民税を軽減するための「雑損控除」の周知を丁寧におこなうよう求めました。

金子議員は「明確にした」というような答弁をしました。金子議員は「明確にした」と言いますが、趣味や娯楽でも高齢者にとっては大事なこと。規則に反して目的で制限するのは問題だ」と反論しました。

福祉タクシー

第2回定例会で質問しましたが、時間切れで答弁がされなかったものです。今年4月、おみやコミセン等への福祉タクシー利用を断られたとの苦情が相次いで寄せられ、金子議員は第3回定例議会の一般質問で再度「市の公の施設への利用なのに、なぜ制限をしたのか」と質問しました。保健福祉部長は「利用の範囲を再検証し、目的により

再び取りあげます。この福祉タクシーの利用範囲の問題を、金子議員は12月議会の一般質問で

被災者のくらし 守って

日本共産党が 知事に6次要請

大内久美子日本共産党県議会議員・県内市町村議員団は11月9日、県知事あてに東日本大震災と福島原発事故の被災者を支援し、くらしを守るよう要請しました。大震災関連の対県要請はこれで第6弾(今回は37項目)。第6次要請には金子議員も参加しました。



県関係各課(右側)から要請書の回答を聞く(党県議・市町村議=11月9日、県庁)